

第49回 中国人の合理性について

弊社は日中両国で事業を行っている事から、多数の中国人を雇用させて頂いています。その中には、大卒者や出稼ぎ者、パートスタッフ等、様々な中国人スタッフがあり、皆が活躍しています。日本と中国双方で勤務経験のある中国人スタッフが、日本人と中国人それぞれの違いを楽しく話してくれます。今日はその事について少し触れたいと思います。

中国人は声が大いのに対して日本人は声が小さい。中国人は物事をストレートに言うが日本人は回りくどく言う事が多い。中国人は派手な色を好むが日本人は地味な色を好む。その他、席を譲る譲らない、何でもすぐに謝る謝らない等の違いはありますが、中国人は全てが合理的で自己主張も強く分かりやすい民族と言えます。一方、日本人は礼儀正しく協調性があり、チームとして行動しやすく細かな気配りが出来る民族です。どちらも一長一短ですが、両国で働くに当たり「双方で学んだ良い部分を活かして働ける優位性を大事にしている」と、皆が口を揃えて言います。

◆ ◆ ◆

中国での合理的なたとえばとして、「滴滴打車」や「ディディダシャ」と言うアプリが一般社会に広く浸透していることがあげられます。これはタクシー配車

アプリで分かる国民性

専用アプリです。中国は人口の割にタクシーの台数が少ないため、捕まえるのは至難の技と言います。しかし、このアプリは開くと位置情報を基に近くにいるタクシーを簡単に呼ぶ事ができ、運転手は自分の行きたい方向の顧客を知ることができます。そしてこのアプリを利用してもらうと運転手側に幾ばくかのインセンティブが入るそうです。

顧客側は効率良くタクシーを見つけることができ、運転手側は効率良く配送できて収益もUPします。そして、このシェアは90%以上にもなっているそうです。

中国の高齢者市場

～介護・不動産事業の行方～



ゲストハウス社長
松山英樹

著者プロフィール
ゲストハウス社長。2007年から高齢者住宅リボンシリーズを関西圏で展開。中国市場開拓を目指し、上海に中国シニア事業会社設立。

ある中国人スタッフから「なぜ日本には、こんな便利なサービスがないのですか？」と聞かれましたが、「私もそう思うが、日本の普及は難しそうだね」と答えました。そう答えながらも中国での合理性をまた1つ学んだ気がしました。